



日本医療機能評価機構認定病院
京都山城総合医療センター
 Kyoto Yamashiro General Medical Center

発行元 京都山城総合医療センター
 発行元責任者 中井 一郎



年頭のご挨拶
 院長 中井 一郎



乙未の年、将来の方向性を示す年

「新年明けましておめでとうございます。」

昨年を振り返ってみますと、豪雨・スーパー台風・竜巻・御獄山の噴火と、わが国が災害大国であることを実感させられた年でありました。小生の出身地福知山でも8月17日未明より豪雨が市街の広い範囲が水没いたしました。八方塞がりでしたが、何とか脱出できたことを思い出します。一方ではサッカーワールドカップなど国際的スポーツのイベントも多く、テニスでの錦織圭の大躍進が印象的でした。

さて本年は乙未(きのとひつじ)の年です。乙未(乙)はいかなる外力にも屈せず、弾力的に雄々しくやっつけていくことを意味するそうです。また、「未」は「不味」すなわち生々たる生命を進展させ、方向性を明らかにする年でもあります。

昨年は①機能評価 3rdG:Ver.1.0の取得、②地域医療支援病院資格取得、③病棟の多機能化、④がん診療の充実、⑤周産期医療の充実、⑥ワーク・ライフ・バランス(WLB)のとれた職場をめざす取り組み、を目標に掲げておりました。①は重大な欠陥なく取得できました。②は登録医制度の開始や逆紹介率50%など多くの収穫は得たものの資格取得までには至っておりません。③ではリハビリなどにより自宅復帰を援助する「地域包括ケア病棟」の新設や3階の稼働病床拡大が実現しました。④では多くの分野での内視鏡下手術の導入などの改善、また⑤では小児科救急輸送日の増加などの進歩が

ありました。⑥は職員数の増加や一部処遇改善が成し遂げられました。

そこで本年は継続目標として、①地域医療支援病院の資格取得、②がん診療のとれた職場を目指す取り組み、を再度掲げたいと思います。そして新たに、⑤病床の有効利用、⑥救急医療・急性期医療の充実、⑦接遇改善、⑧第三次経営計画の策定を目指します。⑤では機能分化した病床に適合した患者さんを受け入れ、スペースを有効に生かすことです。⑥では本来の中核病院に見合った患者さんの受け入れ体制を充実し、医療内容も向上させたいと思います。⑦は利用して頂く地域住民の皆様の満足度が向上するよう、接する態度・言葉遣いを職員一同でもう一度見直してみたいと考えます。そして、⑧では2016年度よりの4年間の医療計画を、そして中長期計画案では2025年頃の当院の在り方を示したいと存じます。まさに将来性を示す「乙未の年」の作業となります。そして、これら目標の実現には、職員一同が「和気藹々とより良い医療を目指す」意気込みと住民の皆様のご支援が不可欠と思われまします。皆様、本年もどうか宜しくお願致します。

このような年に私は華甲の歳を迎えますが、人生の後半戦(?)に新たな華を咲かせるべく頑張りたいと思います。皆様もどうか今年の目標をしっかりと立て、実り多き1年をお過ごしください。

自己紹介

脳神経外科 高道 美智子



10月から勤務になりました、脳神経外科の高道美智子と申します。これまでは主に京都市内の病院で勤務していました。木津川市には今回初めて来て土地勘がないので、みなさんからいろいろと教えていただくと助かります。これまでも主に市中の病院で、脳卒中や救急などの疾患を中心に診療を行っていました。地域の皆さんと病院に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。

外来化学療法室が地下に移転しました。

当院は、2007年6月に、がん対策基本法が施行され、京都府がん診療連携病院の指定を受けております。治療の均点化(全国どこでも同じような治療が受けられる)に伴い当院でも医師・看護師を始めとする他職種が一丸となって患者さんに満足のいく医療を受けていただくために頑張っております。

近年は、たくさんの殺細胞抗がん剤や分子標的薬が認可され、治療方法も豊富になり、制吐剤の開発・在宅での副作用対策(セルフケア)・痛みの軽減が充実してきています。

当院も2000年頃は、入院中心の治療でしたが、社会情勢に合わせ外来治療に移行し、現在は、化学療法委員会を設け多職種で話し合いを行っています。また、治療室には化学療法看護認定看護師が常駐しています。薬剤の調整は薬剤師が行い、治療室では、安全・正確・安楽に実施しております。

最近3年間の当院での外来化学療法実績(抗がん剤と生物学的製剤《リウマチ、潰瘍性大腸炎、クローン病、乾癬など》)は2011年918件、2012年1196件、2013年1444件です。

新しくできた化学療法室はリクライニングチェア7台(非常に座り心地が良いです)、ベッド3台、各々テレビが設置され無料で視聴することができます。室内にトイレがあり、車椅子の方でも使いやすくなりました。内装はピンクを基調に温かい雰囲気仕上げています。今後も患者さんに寄り添える看護を目指していきますので、遠慮なく看護師にお声をかけてください。



病院機能評価 (3rdG:Ver.1.0) を取得

平成26年6月18・19日の2日間、日本医療機能評価機構による病院機能評価を受けました。当院は今回で3回目の評価となります。今回のグレード3の特徴は病院の診療内容・規模により審査内容が異なること(当院は急性期医療が中心の基幹病院に該当)、書類審査のみならずケアプロセス(患者様の診療経路を辿り、診療・ケアの内容を審査する)を重視した審査でありました。その内容項目は、①患者中心の医療の推進、②良質な医療の実践、③理念達成に向けた組織運営でありました。その結果、S(秀でている)が1項目、A(適切に行われている)が71項目、B(一定の水準に達している)が14項目、そしてC(一定の水準に達しているとはいえない)は0項目との高い評価を得ることができました。ちなみに、S評価は栄養管理機能で、高い衛生意識のもとで温度・湿度を細かく管理し、栄養管理も極めて秀でているとのことでした。このような、外部機関の意見を大いに取り入れ、今後さらに安全で良質な医療が展開できるよう励みたいと考えております。

院長 中井 一郎

消防訓練を実施しました

11月11日、相楽中部消防本部組合と合同で消防訓練を実施いたしました。訓練は、夜間京都府南部地域において震度5強の地震が発生、8階病棟特別室台所から出火したとの想定で、被災状況の把握と暫定対策本部への報告、消火栓等を使用した初期消火、避難誘導及び消防署への通報訓練を相楽中部消防署員立ち会いのもと行いました。次に、避難中に負傷し院内に逃げ遅

れた患者さんが3名いるとの想定で、相楽中部消防署救助隊・梯子隊・消防隊による救助訓練が行われました。

8階ベランダからの救助は実際に梯子車を使用し、臨場感あふれる訓練となりました。

訓練終了後、相楽中部消防署署長による講評があり、「自衛消防隊を中心に自分達の病院は自分達で守る体制づくりが大切である」とのお話をいただき、災害時いかに対応すべきかを検証し、患者さんに安心して当院をご利用いただくため、職員一人ひとりが防火への意識を高め、安心・安全な医療を提供できるよう努めていきたいと思っております。

事務局 大西 勝也



住民フォーラム

講演賜りました。

講演の概要ですが、認知症の患者さんに見られる症状がどのような記憶の障害で生じるのかを丁寧に説明されました。さらに、認知症の原因となる疾患のうち代表的なアルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症の概要から、具体的な症例の病歴、検査結果をお示しになりました。最後に治療法と対応する者の注意点を教えて頂きました。

後半の質疑応答は、水野先生の他、森看護師、林臨床心理士、濱松精神保健福祉社より、質問用紙に記載された質問に答えてゆく形式をとりました。認知症の予防はどうしたら良いかに対しては、改善すべき生活習慣を改めることや、適度な運動が良いとのことでした。また、問題となる周辺症状対策としては、背景にある患者さんの動機を推測しつつ、好意的に接していただくことが大切とのことでした。85名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。



第14回住民医療フォーラムを、平成26年11月27日15時より「これからの認知症治療」というテーマで開催しました。京都府立医科大学医学研究科神経内科水野敏樹教授より、ご

神経内科部長 岩本 一秀



機器紹介

内視鏡手術システム

1990年にわが国で1例目の腹腔鏡下胆嚢摘出術が施行されて以来、20余年の月日が経過し、手術機器や技術の進歩により多岐に渡り腹腔鏡手術が行われるようになりました。近年大腸切除術はもとより、胃切除術も腹腔鏡で普通に行われるようになってきました。腹腔鏡手術は傷が小さいことによる整容性や術後疼痛の軽減、早期回復や早期社会復帰が可能といった利点に加え、その拡大視効果により、より緻密で正確な手術が可能になります。最近では、開腹手術と同等かそれ以上の手術が可能になっています。当科でも積極的に腹腔鏡手術を施行するようになっており、昨年は消化管の手術の約6割を腹腔鏡で行う様になりました。婦人科や泌尿器科も同様に腹腔鏡手術を施行しており、手術室の腹腔鏡手術の設備をより充実させるため、平成26年9月に(オリンパス社製の)フレキシブル内視鏡手術システムを導入しました。このシステムの特徴は上下左右4方向に湾曲する先端に高性能CCDカメラを装着したスコープに気腹装置や高精度HD対応のモニター、画像記憶装置、ガスボンベ等をひと

ビデオシステム導入

今年の9月にオリンパス社製ビデオシステムを導入しました。

上記システムは解像度が高く、今までは確認困難であった膀胱内の小さな病変も検出でき、より確実に安全な内視鏡手術が可能となりました。

また、内視鏡手術の際の還流液として生理食塩水を用いることが出来る内視鏡システムと電気メスも導入し、前立腺肥大症の内視鏡手術の際に問題となってい

このワークステーションに集約したシステムで、手術室での利便性を考えたオールインワン設計となっています。手術器械との干渉をさけつつ、対象物の正面視像や裏側の観察が高精度HD画像で提供され、さらに正確、安全で緻密な手術の礎になります。従来のシステムに加え今回のシステムを併用し、腹腔鏡手術の症例をさらに増やし、皆様により良い医療サービスを提供できるよう、今後一層の努力をして参りますのでよろしくご願ひ申し上げます。

消化器外科部長 糸川嘉樹



た水中毒といった合併症を、最大限に減少させ施行できるようになり、安全性が高くなりました。

更にこのシステムは腹腔鏡による手術にも使用でき、腹腔鏡での腎摘除や副腎摘除の手術が今までより更に安全に施行できるようになりました。

泌尿器科部長 鈴木 啓

脳神経外科手術用顕微鏡



脳神経外科手術には極めて繊細で正確な手技が求められます。術者の技量が必要であるのは論を俟ちませんが、道具もやはりまた重要です。たとえばシューマツハーでも軽自動車ではF1レースを勝てないでしょう。

今年度、脳神経外科手術用顕微鏡を更新していただきました。ライカマイクログラフ社製のM7200H5です。以前のもものは12年間に亘り使用しており、いささか古くなっておりましたので、大変喜んでおります。新しい顕微鏡の特徴をご紹介します。

まずは極めて高画質であることです。この顕微鏡を使用することにより、脳深部の病変でも明るく鮮明な術野が得られ、手術を安全確実に遂行することに大きく寄与しています。また、我々は脊椎脊髄外科手術(頸・腰など)にも脳外科手術を応用した顕微鏡手術を行っており、患者さんの負担の少ない手術で大きな効果を得るよう心がけています。

次に術中蛍光観察モジュールです。通常光下では観察できないものを可視化できる技術です。これには2種類あり、一つは術中血管観察です。従来の顕微鏡では微細な血管の血流を見ることは不可能でした。新しい顕微鏡ではこれを観察することができ、特に脳血管外科(脳動脈瘤手術など)で大いに役立っています。もう一つは術中腫瘍観察です。ある種の脳腫瘍は見かけ上正常脳と区別が困難です。術中腫瘍観察モジュールを使用することにより、腫瘍を判別でき、正常脳を傷つけずに腫瘍を摘出することが可能となります。

他にも操作性など多く改善されています。我々はこの手術用顕微鏡を駆使し、今後も更に手術成績を向上し、患者さんに安心して高度医療を受けていただけるように努力いたします。

脳神経外科部長 岩本芳浩

排泄ケア委員会・CST

昨年おむつに関する研修会に参加した看護師を中心に排泄ケア委員会を発足しました。名付けてCST（コンチネンスサポートチーム）です。CSTの目的は、統一した排泄ケアを実施することにより、考える排泄ケアをめざし、患者様により快適性を高めることです。CSTメンバーは、看護部の各部署から1〜2名を選出し、定期的に会議を開催しています。アドバイザーからの説明会を聞き、実技指導を含めた院内研修を実施しました。

当院で導入したおむつは一枚使用で、中にパットを使用しないタイプです。尿の吸収率がよく、頻回に交換する必要が少なく、夜間の患者様の安眠を図ることができます。又、患者様の状態に合わせた種類やタイプを選び、患者様に適したおむつを選定し、よりフィット感のあるものを使用することが可能となりました。

当院で統一したおむつを導入することで病室内の荷物を軽減し、環境整備を図ることができ、看護師のおむつ交換にかかる業務量削減にも繋がり、御家族のおむつ購入に対する負担軽減を図ることができると期待しております。皆様のご理解、ご協力宜しくお願い致します。

京都山城総合医療センター CST



看護師再就職支援セミナー

無料



看護師免許を持ちながら現在働いていない「看護師」さん、再就職を考えていても実際に働けるかと悩んでいませんか。京都山城総合医療センターでは、研修を開催し、現在行っている看護技術や知識を学んでいただき再就職へのお手伝いをさせていただきます。今回は、電子カルテ・心電図モニターについて研修を開催しました。今回は、フィジカルアセスメント（呼吸器）についての研修を予定しております。聴診器をお持ちであれば、ご持参下さい。

日時 平成27年2月12日（木）午後1時～3時30分
 場所 京都山城総合医療センター 9階「会議室」
 申込 平成27年2月10日（火）までに、看護部（TEL72-0235）へ



京都山城総合医療センター ☎ 72-0235 URL: <http://www.yamashiro-hp.jp/>

介護老人保健施設 やましろ

介護サービスを利用したい時に、「一体どこの事業所のサービスを選んだらいいのかわからない。それぞれの事業所のサービスについて比較が出来ればいいのになあ・・・」など、介護サービスや事業所を選択する時に迷った経験がある方もいらっしゃると思います。そんな時にインターネットで事業所のサービスについて比較できるサービスが、『介護サービス情報公表システム』です。『介護サービス情報公表システム』は、厚生労働省が全国の介護サービス事業所・施設の情報を掲載しているホームページです。介護保険の解説から各事業所のサービス内容まで、インターネットでいつでも誰でも気軽に情報を入手することが出来ます。また、毎年1回、それぞれの事業所が情報の更新を行っていますので、比較的新しい情報を見ることが可能です。もちろん「介護老人保健施設やましろ」の情報も検索できますので、ぜひご利用ください。

◎ご見学、ご相談等お気軽にお問い合わせください。
 なお、介護職員も募集しておりますので興味のある方はご連絡ください。

介護老人保健施設やましろ TEL (0774) 73-0359



看護師募集

地域の中核病院で一緒に働きませんか

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.yamashiro-hp.jp/>

- 待遇
- 地方公務員に準ずる
 - 期末勤勉手当 年2回（6月、12月）
 - 定期昇給 年1回

看護部もしくは事務局まで

TEL0774-72-0235

お気軽にお電話ください



- H27年度新入職者
- 中途採用者